

原野谷学園

新たな学園づくり地域検討委員会

だより No. 2

「小中一貫教育」って何だろう？ 検討委員会と意見交換会が開催されました

原野谷学園新たな学校づくり地域検討委員会では、昨年12月11日に第1回検討委員会を、1月29日に第2回検討委員会を開催しました。

委員会では、小中一貫教育に相応しい学園・学校の在り方を検討する上で大前提となる「小中一貫教育」について、市教育委員会の説明や、学園内の各学校の取組状況について報告を受けるなどして、小中一貫教育についての理解を深めました。

また、1月17日には、原野谷学園新たな学園づくり地域意見交換会が開催され、原田・原谷地区から約70名の皆さんに御参加いただきました。意見交換会ではまず、小中一貫教育が必要となる社会的背景や、掛川市が目指す小中一貫教育の内容について説明があり、その後参加者から多数の質問、意見等が出されました。意見交換会で出された意見は、第2回検討委員会で報告され、今後の検討の際に参考にしていきます。

【検討経過】

- ・第1回検討委員会（12/11） 原野谷中学校
- ・第1回地域意見交換会（1/17） 原谷小学校 多目的教室 約70名が参加
- ・第2回検討委員会（1/29） 原野谷中学校

検討委員会、意見交換会で配布された資料、会議の概要は掛川市のHPに掲載されていますので、御覧ください。

検索

原野谷学園 地域検討委員会



意見交換会の様子（1月17日）



新たな学園づくり地域意見交換会で出された主な御意見・御質問

【御意見・御質問1】

検討にあたっては住民の合意をどうとっていくのか。

【事務局回答】

地域検討委員会でじっくりと話ながら、一緒に検討していきたいと考えています。

【御意見・御質問2】

小規模校には教育上の利点があるので、小規模校として残していくのが望ましい。

【御意見・御質問3】

一体型の学校になった場合、1学年に複数の学級ができるという話があったが、現実的に可能なのか。

【御意見・御質問4】

こうした説明会、意見を聴いていただく機会を設けていただいたことは非常にありがたい。基本的に小中一貫教育に賛成である。素晴らしい一貫教育を展開していただきたい。

【御意見・御質問5】

一貫教育の問題を考えていく時に、課題がどこにあるのかを具体的に説明をしてくれると、より明確にイメージできるのではないかと思う。

【事務局回答】

小中一貫教育の課題等については、今後地域検討委員会で示して検討をしていきます。

第2回目の地域意見交換会でも話をしていきたいと考えています。

子どもの数、地域の実情、財政面等、いろいろな面を提示しながら御意見をいただきたいと思っています。

第3回新たな学園づくり地域検討委員会の開催について

日時：平成30年3月14日（水） 午後7時から

場所：原野谷中学校 2階 図書室

内容：小中一貫教育を行っていく学校の在り方について

それぞれの学校の在り方のメリット、デメリットの検討 等

第3回、第4回の検討委員会で検討した内容を、第2回の地域意見交換会で報告して、地域の皆さんの御意見を伺う予定です。

御意見・御質問等ございましたら、お寄せください。

発行・編集
掛川市教育委員会 教育政策室

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1-1
電話：0537-21-1109 FAX：0537-21-1222
E-mail：kyoikubu@city.kakgeawa.shizuoka.jp

